

6年生保護者様

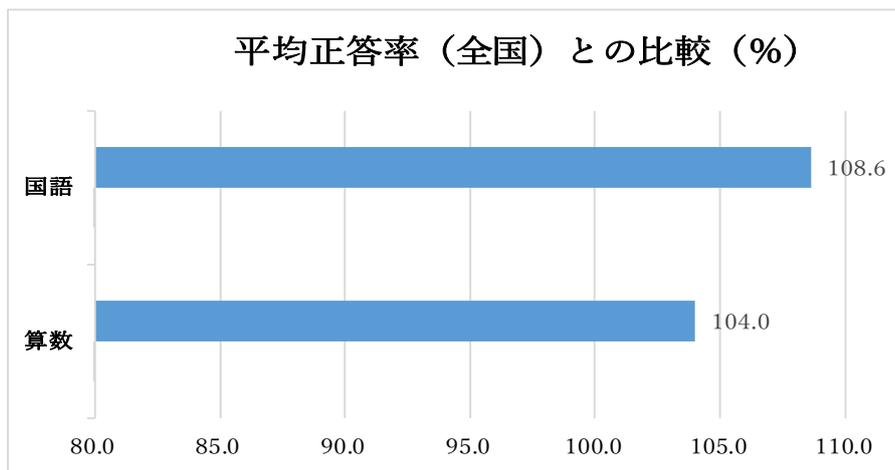
丹波篠山市立今田小学校

校長 野々口 竜己

今田小学校6年 学習・生活に関する学力・生活向上プラン ～全国学力・学習状況調査 市生活習慣状況調査～

6年生を対象に4月18日に実施された「全国学力・学習状況調査」及び「市学力・生活状況調査」の結果を分析し、『学習・生活に関する学力・生活向上プラン』にまとめました。今田小学校の子供たちの状況をふまえ、さらなる学力・生活習慣の向上に取り組みます。ご家庭におかれても、ご支援をいただきますようお願いいたします。

【学力に関する調査結果の概要】



今回の学力調査の全国平均の点数を100とし、それと今田小の結果を比較しています。

100以上は全国平均を上回っているという意味です。以下の文章では、全国平均より5%以上の場合を「上回っている」、5%以下を「下回っている」と表しています。

国語

国語は、全国平均を上回っています。領域ごとに見ると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域で全国平均を上回っており、「書くこと」には、やや課題が見られました。

○【重点ポイント】次のことに重点を置き、指導します。

- ・朝の学習タイム等を利用して、60～100字程度の文章を書く練習を進めながら、慣れてきたら条件を1つ2つ増やして文章を書いてみる練習をします。
- ・校内で進めている読書貯金活動や丹波篠山市中央図書館との連携を通して読書量を増やし、問題文を読むことへの抵抗感を減らして内容理解を深めます。
- ・朝の学習タイムやすきま時間を利用して、敬語等の語彙を増やします。

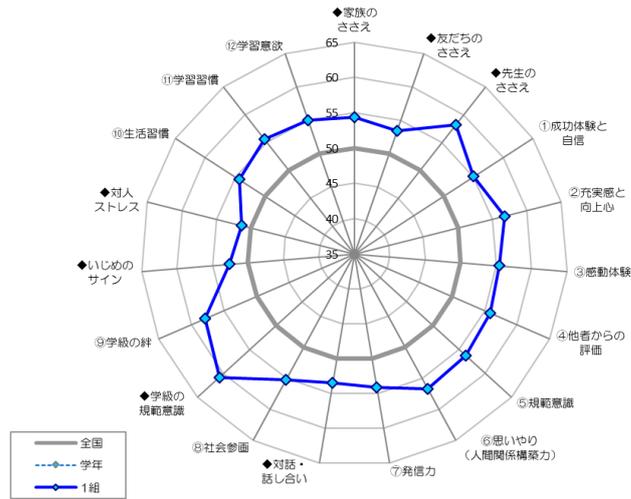
算数

算数は、全国平均と同等です。領域ごとに見ると、「データの活用」の領域は、全国平均を上回っています。「変化と関係」の領域は、全国平均を下回っています。

○【重点ポイント】次のことに重点を置き、指導します。

- ・問題の意味が読み取れるようにキーワードに印をつけたり、ホワイトボードを使ってグループで考える活動を行ったりして、問題を正確に把握できるよう指導します。
- ・三角形の面積は、底辺と高さが分かれば求められることなど、面積の公式の意味についても他の図形と比べながら覚えることができるようにします。
- ・既習事項を振り返り、割合の意味や百分率の意味合いをしっかりと理解できるようにします。

【生活習慣に関する調査結果の概要】



(生活の様子について質問し、内容項目を18項目に分類してまとめています。)

※全国平均より5%以上で「上回っている」、5%以下で「下回っている」と表しています。

生活習慣

すべての領域で全国平均と同等または上回る結果であり、好ましい生活習慣がついています。特に、「学級の規範意識」や「学級の絆」は高い値です。「対人ストレス」「いじめのサイン」は、全国平均と同等であるものの、他の項目に比べるとやや低い傾向があり、見守っていく必要があります。

○【重点ポイント】 次のことに重点を置き、指導します。

- ・ 児童をよく観察し、いつもと様子が違っていたら声をかけて話を聞きます。
- ・ 授業やホームルームの中でグループ活動を積極的に取り入れ、話しやすい雰囲気クラス全体で作ります。
- ・ 運動会や修学旅行などの行事での取組の中で一人一人の役割を作り、達成感が味わえるような取組をします。

【終わりに】

本校では、今回の調査結果をもとに、これまでの学習面、生活面の指導を振り返り、今後力を入れることを「重点ポイント」としてまとめました。

ご家庭におかれましては、お届けする個人票(i-checkシート)を参考に、お子様の家庭学習・生活習慣について今一度ご確認いただき、ご支援ください。